

平成〇〇年〇月〇日

(あて先)

公益財団法人名古屋まちづくり公社理事長 様

所在地 〇区〇町×番地
名 称 都市センターまちづくりの会
代表者 山田 太郎 印

まちづくり活動助成活動実績報告書

当団体のまちづくり活動の実績状況について、名古屋都市センターまちづくり活動助成金交付要綱の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 助成概要

助成部門	地域“魅力”アップ部門 ・ “はじめての一步”部門
活動名	〇〇地域のみんなで一緒にまちをつくる ～つながりと自慢づくり～
助成額	300, 申請時の活動名をご記入ください。
活動期間	平成〇〇年 〇月 ~ 平成〇〇年 〇月

2 助成対象活動の実績報告

(1) 助成対象活動の目標達成

(活動の目標をどの程度達成できたか、達成できなかったものがあればその理由等)

- ・子どもからお年寄りまで、地域住民を大勢巻き込みことが出来た。
- ・特に30名の高齢者にご参加され、地域内の●割の数の高齢者に参加いただいた。しかし、当初の目標を達成することが出来なかった。

助成対象活動について振り返り、なるべく定量的で具体的な達成した目標や成果をご記入ください。

(2) 助成対象活動の成果 (活動による成果)

- ・これまで地域の活動に関わることがなかった住民が出てきて、活動の準備を手伝ってくれた。そして、ワークショップを通じて地域住民とのコミュニケーションが徐々に活発になってきた。
- ・来年度、子どもをみんなで見守りながら育てていくための取り組みが生まれた。

(3) 助成対象活動における工夫 (活動の目標達成のために工夫した点など)

- ・地域で見かけた人には挨拶など声掛けを心がけ、挨拶から少しずつ話を広げていき、あまり交流がなかった住民との接点をつくり、活動への参加を促していった。
- ・活動の広報紙を普段の回覧しているチラシと比べて、活動を理解しやすく、楽しく行っている様子を伝え、次回の活動に気軽に参加しやすいような雰囲気づくりを進めた。

(4) 助成対象活動の改善点 (課題やそれを踏まえた改善などを具体的に)

■課題

- ・中年層の活動への関心が薄く、活動への参加も少なかった。

■改善

- ・仕事などがあり、普段なかなか活動に参加出来ない中年層でも、気軽に加わりやすい仕組みや仕組みを検討していく。

(5) 助成対象活動の次年度の活動計画 (具体的な活動の見通しなど)

- ・助成対象活動で整備した広場に季節に合わせた草花を住民で草花を植えていく。
- ・子どもたちと広場で遊びながら、草取りなどの清掃活動を検討している。

(6) 活動を進めるうえで、助成事業について改善を望むこと

- ・継続的に助成を受けることが出来るようにしてほしい。
- ・助成を受け終えたあとのフォローアップとして支えてもらえる仕組みがほしい。

※第5号様式は、2ページにおさまるように記入してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

助成対象活動の実施記録

実施記録は1ページにおさまるように記入してください。

年	日付	活動項目	活動内容	参加者数や印刷物の発行部数等
28	7/○	活動B	広報紙1印刷	○○部
	8/×	活動A	ワークショップ第1回 開催	○○人
	8/△	活動B	広報紙2 ワorkshop第1回レポート印刷	○○部
	10/○	活動B	広報紙3印刷	○○部
	11/×	活動A	ワークショップ第2回 開催	○○人
	11/△	活動B	広報紙4印刷	○○部
29	1/△	活動B	広報紙5印刷	○○部
	1/○	活動C	広場整備ワークショップ開催	○○人
	2/×	活動B	広報紙6 広場完成レポート印刷	○○部

助成対象活動の準備や実施、その後の活動、それに合わせて発行した印刷物や行事等の来場者数などをご記入ください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

助成対象活動の収支決算書

1 支出

助成対象活動における支出をご記入ください。

費目 手引きの費目を参照	活動項目	領収書番号	工事費 対象	金額 (円)	
① まちづくり活動助成金からの支出				340,000	
① の内 訳	諸謝金	広報紙の作成 広場整備ワークシ ョップ	1~2 3~4	30,000 30,000	
	印刷費	広報紙印刷	5~6	45,000	
	消耗品費	ワークショップ	7~8	34,000	
	その他経費	広場整備ワークショップ	9	5,000	
	項目に該当する領収書等の番号を記載し、領収書等の原本が確認出来るようにしてください。				100,000 100,000
② 自己資金からの支出【地域“魅力”アップ部門のみ記入】				96,000	
② の内 訳	諸謝金	ワークショップ	12、13	20,000	
	消耗品費	広場整備ワークショップ	14~15 16	15,000 3,000	
	賃借費	ワークショップ	17、18	30,000	
	「“はじめの一步”部門」は自己資金からの支出の記入は不要です。				4,000
	その他経費	ワークショップ	22	2,000	
		ワークショップ	23	3,000	
		広場整備ワークショップ	24 25	3,000 1,000	
③ 総支出合計 ①+②				440,000	
			うち、工事費に係る経費の計	200,000	

2 まちづくり活動助成金の返還額

計算式	金額 (円)
“はじめの一步” 部門 ④-① (正の値の場合は記入)	
地域“魅力”アップ部門 ④- {③×4/5} (正の値の場合は記入)	

3 収入

助成対象活動に充当した収入をご記入ください。

費目	内訳・算出根拠	金額 (円)	
④ まちづくり活動助成金		344,000	
⑤ 自己資金【地域“魅力”アップ部門のみ記入】		96,000	
⑤ の内 訳	独自の財源 会費 客附 協賛金等	会費・寄附 企業協賛	30,000 21,000
	「“はじめの一步”部門」は自己資金からの支出の記入は不要です。		
	本活動による収入 材料費、資料代等	ワークショップ 2回×300円×50名 広場整備ワークショップ 1回×300円×50名	30,000 15,000
	⑥ 総収入合計 ④+⑤		440,000
「③総支出合計」と「⑥総収入合計」が同じ金額になるようにしてください。			

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。